

琉大21世紀フォーラム

テーマ

多元的ガバナンス

ーローカルからグローバルへ

(講演は日本語です)

概要

ますますグローバル化する世界において、西洋的な多国間システムは国民国家のルールを越えて動く主体によるインパクトという観点から機能不全に陥っていると批判されている。現在の「世界秩序」はASEANやEUといった地域連合、さらには市民団体や多国籍企業、その他の様々な利害関係者に及ぶ非国家的利害関係者に適切な配慮を行っていないだけではない。さらに国境を越えた問題、例えば早急に合法的なガバナンスを要する公海の問題やサイバー空間の問題を挙げることができる。それゆえに現行の多元的ガバナンスは全利害関係者によるオムニラテラルな参加に開かれなければならない。そしてそれこそが国際金融などを含むグローバルな社会の全要素を支配しなければならない。

平成28年

日時

4/18日(月)

12:50~14:20

会場

琉球大学

法文学部新棟

1階114教室



講演者

ウォルフガング パーペ 博士(法学)

ヨーロッパ政治研究所(CEPS)

1947年生まれ。パーペ氏は現在、ブリュッセルのヨーロッパ政治研究所(CEPS)にて客員研究員、さらにヨーロッパ、アジア、アメリカの大学やシンクタンクにおいて講演活動をしており、EUにおいて長期にわたり対アジア戦略に携わっていたことからヨーロッパとアジアの関係について熟知している。パーペ氏は東京の駐日欧州連合代表部で筆頭参事官、日欧産業協力センターのジェネラルマネージャーも務めた。1970年に初めて日本を訪れて以来、たびたびアジアに弁護士/外交官として長期滞在し、アジアの発展に関する重要なオブザーバーであり続けている。また、四か国語で出版活動に取り組んでおり、最近出版した本の内容はグローバルガバナンスにおけるオムニラテラリズムの進展に関するものである。

お問い合わせ ※事前申込

琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課 産学連携推進係 TEL:098-895-8031

